

アセトアセテート脱炭酸酵素

Cat. No. EXWM-4784

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 アセトアセテート脱炭酸酵素（AADまたはADC）は、ヒトや他の哺乳類におけるケトン体生成経路および細菌における溶媒生成に関与する酵素です。アセトアセテート脱炭酸酵素は、アセトアセテートの脱炭酸反応を触媒することによって、アセトンと二酸化炭素を生成することで、溶媒生成において重要な役割を果たします。この酵素は、酵素活性部位のイオン化可能なグループのpKa値が大きく、反応する典型的な例であるため、特に注目されています。具体的には、活性部位のリジン115のpKa値は異常に低く、シッフ塩基中間体の形成と触媒作用を可能にします。

別名 アセト酢酸デカルボキシラーゼ; アセト酢酸カルボキシラーゼ

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 4.1.1.4

CAS登録番号 9025-03-0

反応 $\text{アセトアセテート} + \text{H}^+ = \text{アセトン} + \text{CO}_2$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C ~ -80 °C で保管してください。